

# CentreCOM® 9006SX/SC リリースノート

この度は、CentreCOM 9006SX/SC をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。  
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いた  
だきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ソフトウェアバージョン 2.4.2J

### 2 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン2.4.0Jから2.4.2Jへのバージョンアップにおいて、以下の項目が修  
正されました。

- 2.1 マルチプルVLANモードにおいて、拡張モジュールをスロットAとBの両スロットに搭載  
した場合、スロットBのポートが使用不可となっていました。これを修正しました。
- 2.2 ポートランキングを設定したポートの次のポートに端末を接続した場合、(例えば、ポー  
ト1、2にポートランキングを設定し、ポート3に端末を接続した場合)、本体から該当  
の端末に対してPingとトラップの通信を行うことができませんでしたが、これを修正しま  
した。
- 2.3 一部のNMS(Network Management System)で「Intruder Alert」トラップが正しく表示  
されない不具合がありました。これを修正しました。

### 3 オペレーションマニュアルについて

ソフトウェアバージョン2.4.0Jで、オペレーションマニュアルが「AT-S24/AT-S26 オペレー  
ションマニュアル(J613-M0521-00 Rev.A)」というAT-S24/AT-S26ソフトウェア搭載製  
品共通のマニュアルに改版されました。

このマニュアルは弊社ホームページに掲載されていますので、同梱のマニュアルが「AT-S24/  
AT-S26 オペレーションマニュアル」でない場合は、そちらをご覧ください。

初期バージョン以降、どの機能がどのバージョンで追加されたかは、vページ「追加機能と対応  
ソフトウェアバージョン」に記載されています。

「AT-S24/AT-S26 オペレーションマニュアル」へのリンクはこちら：  
<http://www.allied-tesesis.co.jp/support/9006sx/manual.html>

## 4 注意事項

### 4.1 1000BASE-X ポートについて

- 1000BASE-X ポート同士の通信において (AT-A15 同士のカスケード接続、CentreCOM 9006SX/SC 同士のカスケード接続、AT-A15 と CentreCOM 9006SX/SC のカスケード接続)、ソフトウェアバージョンの組合せによっては、正しく通信できない場合があります。1000BASE-X ポート同士の通信を行う場合は、必ずスイッチ本体を以下に示すソフトウェアにバージョンアップしてからご使用ください。

CentreCOM 8216FXL/SC : バージョン 2.0.0J 以降  
CentreCOM 8224XL : バージョン 1.2.12J 以降  
CentreCOM 9006SX/SC : バージョン 1.0.5J 以降

- 本製品は、[Port status and configuration] メニュー内において、1000BASE-X ポートの通信モードを [Half duplex] に設定することが可能です。ただし、1000BASE-X ポートの場合、本製品出荷時点で他の検証機器がないため、本製品同士、および弊社 AT-A15、CentreCOM 8216XL との検証のみを実施しています。
- 通信になんらかの問題が発生した場合は、光ファイバーケーブルの抜き差しを行うようにしてください。また、光ファイバーケーブルの抜き差しは、必ず TX と RX の両方を行ってください。